

## 地域おこし協力隊通信 (No. 52)

### 気軽に新しいことを！チャレンジ拠点 YOKANA (由華)

こんにちは！地域おこし協力隊の湯目ゆかです。今月は、「新しいことにチャレンジできる場所が欲しい！」という住民の声を受けて取り組んでいる、「チャレンジ拠点 YOKANA (よかな)」について書きたいと思います。チャレンジ拠点 YOKANA は、誰もが気軽に新しいことを始められる場所にしようという狙いを持った場所で、旭町商店街にあります。

小さなチャレンジと、その成功体験を共有する時間。建物が完成した時には、「あそここの壁は私が壊したんだよ!」、「私が商店街の店舗に明かりを灯したんだよ!」と、誇りを持って話してくれれば嬉しいです。

商店街で活動をするなかで、出郷者の方から「自分が小さい頃のように商店街に活気が戻ってほしい」という声もいただきました。みんなが持っている『中種子町を活性化させたい』という気持ちを、みなさんと一緒に形にしていけると嬉しいです。

希望される方々は、「DIYにチャレンジ!」壁を壊したり、壁に漆喰を塗ったり。うまくできると、みんな

黄色い看板が出ているときは、私たちがいるので、ぜひ声をかけてください!

— 湯目 由華 (ゆのめゆか) —  
中種子町地域おこし協力隊員2年目。  
岩手県出身。



町の皆さんとお会いするなかで、よくいただく『地域おこし協力隊制度』や私達についての質問を、毎月少しずつ紹介したいと思います!

### 【第7回】『地域おこし協力隊』はどんな仕事をしているの？



地域おこし協力隊はどんな仕事をしているの？

地域が目指す姿を、各隊員のスキルで実現するのが仕事なんだ。言い換えると、隊員が「地域らしさ」を得意分野で磨き上げることだね!



中種子町がこうなったらいいな！一緒にやろうよ！ということがあったら、ぜひ協力隊に伝えてね!

※特に今の中種子町協力隊は、  
・町の魅力が伝わるような文章を書くこと  
・町の人の「やりたい!」を形にすることが、得意だよ!

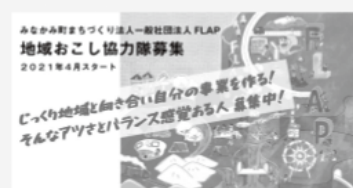
例えば...

【事例紹介】西予市の場合



後継者のいない畑を使用し、農家を目指す地域おこし協力隊を募集。

【事例紹介】群馬みなかみ町の場合



地域の課題を解決するような事業で起業し、定住を目指す地域おこし協力隊を募集。